



携帯電話

エリアの拡大を

答

働きかける

問

西森久雄

「新しい町づくり計画」の携帯電話の通信エリア拡大については何の手段がとられているか。

昨年度、津野町がエリアを拡大したが、一集落に20戸以上あればアンテナを設置していただけるようだ。

仁淀支所の例をとると白石川や太郎田は20戸はないが、近くの集落のアンテナからエリアを伸ばす事はできないか。

答

町長

本町には携帯電話不感地域が残っている。

解消するには基地局や伝送の施設など整備が必要となるが、保守費用など、多額の負担を伴うため、携帯電話の利用者が



携帯電話が常備化した今、不感地帯の解消が急がれます
(芋生野)

問

西森(久)

住民が困っている。また、秋葉祭の参拝客も携

答

町長

地域の実情を踏まえ、更に整備できるよう働きかけていきたい。

少ないエリアでは、採算面の問題から事業者の投資は容易でないと推察する。

帯が使えず不便だと言っているが何とかできないか。

役場を3課に

答

参考にし検討する

問

西森常晴

新しい自治体の組織は、
1、総務・企画・税務
2、産業建設
3、福祉
そして、教育委員会云の3部が理想と言われるが。

答

総務課長

現在は、総務、企画、産業建設、税務、町民、保健福祉の6部門と教育委員会だ。

効率化が図りにくく、まとまりと一体感に欠ける欠点はあるが、旧庁舎が有効利用でき、合併時

に混乱が生じない利点があった。

問

西森(常)

合併により、普通交付税は、5億から6億増、特別交付税が3年間で6億3000万円増えた。

6年後には、財政優遇措置はなくなる。

今から、小さな役場づくりを考えていかないと、財政がパンクするが。

答

総務課長

検討していく。



仕事風景 (産業建設課)

吾中の敷地

医療・福祉の総合施設の建設を

答 連携は大事

問 西森(常)

中学校を仁淀、池川の

2校とし、吾中の跡地へ診療所を中心とした、新しい医療・福祉の総合施設の建設を提案してきた

が。

答 保健福祉課長

生徒数が厳しい状況は認識している。

高齢化率(65才以上)が50%近くになり、医療・福祉の連携を図る、一体化した総合施設は、福祉の向上につながると思う。

問 西森(常)

NTT跡地に社協が計画している建物は、手狭で危険度も高く夢がない。再考すべきだ。

答 保健福祉課長

いま一度、社協と協議する。



高齢化施設は病院と併設した、ゆったりとした敷地が望めます(大崎)

中学の統合

仁淀・池川の2校に

答 時間をかけて検討する

問 西森(常)

仁淀高校が無くなった後の土地の利用計画は。

答 教育長

仁淀高校は、23年3月で閉校となる。

建物は耐震基準を満たしてなく、敷地総面積7614㎡中、77%は借地だ。

県は建物は取り壊し、借地は返還の方向で検討している。

町は、地域振興対策、学校再編、福祉対策といった、中長期的な全体計画の中で考えていきたい。

問 西森(常)

中学の統合は。

答 教育長

時間をかける必要がある。

10年～20年後には、小・中を統合した場所を探索する必要も出てくるのでは。

用居から大崎まで30

分、他の場所となると、それ以上に時間がかかる。慎重に考えていく必要がある。

問 西森(常)

用居は遠くならない。

私の提案は、中学校の統合は、仁淀、池川の2校で、現在の吾中の跡地は医療・福祉の総合施設の建設だ。

仁淀・池川の教育力の強い場所で学力をつけ、魅力ある学校創りを、今手を打たないと、森と土居は無くなる。

答 教育長

議論を活性化させ、町長サイドと連携し、4～5年先を目標に考えていく。

池川北浦地区に林道を



答 用地交渉ができれば

問 橋本眞一

池川北浦地区は国道バイパスが開通し、植林を伐採しても搬出に架線を引かず苦慮しているが、林道開設はできないか。

答 町長

北浦地区の関係林道は大峠北浦線がある。開設延長は2128mで同地区まで到達せず事業は完了している。

広大な森林資源があり地区の意見集約、用地交渉ができれば、事業獲得に向け努力する。

NTT跡地

国道沿いで危険性が高い

問 橋本

NTT跡地に福祉センター建設の説明があったが、高齢者が利用するには国道沿いで危険性が高い。地固めの杭打ちに約3千万円かかり、その費用で別の土地が買える。

答 人によって感じ方に違いが

議会にも少し早めに相談し、知恵を出し合ったら良かったのでは。

答 保健福祉課長

安全性は人によって感じ方に違いがある。予定地は国道沿いで高齢者、要介護者が利用す

るには、危険を伴うことが十分考えられるので、国道より8m位控え安全性に配慮し計画する。議会に周知徹底できなかった事は申し訳なく思っている。

どうやって所得向上を図るか



答

フードプランは地元の食材を使って

問 岡田良成

土木、農、林業で、今後どう所得向上を図るのか。

答 町長

フードプランの加工商品流通拡大を図り、仁淀川町らしい農業の確立をめざす。

林業は、環境面から森林が見直され、カーボンオフセットの対象として注目されている。本町最大の資源である森林を活用し、従来型の林業の再生に加え、環境産業への展開を研究する。

土木建設は、現金収入の場で、地域住民の生活を支え守ってきた。県道の財源を確保し有効な事業の発注に努める。

問 岡田

フードプランは地元の農産物を納入し、加工から販売まで一貫性の事業、加工開発にも指導すべきである。

土木業者は、雇用、経

答 町長

フードプランは、地元の食材を使って農家の所得を上げたい。

林業は、根幹となる林道、作業道が必要で、健全な森づくりに努め、所得が上がるよう導いていく。建設業は、一定の公共事業は必要。

営の問題で悲壮感を持っている。発注は町内業者を指名し、材料も町内で仕入れ、町民の所得が上がる指導をすべきである。林業は、即使える作業道を抜き、林業所得を上げるべきと思うが。



フードプラン作業風景 (一ヶ谷)

NTT跡地

杭打ちに3千万円。その費用で別の土地が買える

答 再度、社協と協議したい

問 岡田

社会福祉協議会の事業と職員数は。

答 保健福祉課長

生きがい活動通所事業、デイサービス事業、訪問入浴介護事業、保育、コミュニティバスで、臨時、派遣職員等含め120人。

問 岡田

総合福祉センターの場所は、大崎のNTT跡地、事業費が2億6千万円、建物を建てるための杭打ちに約3千万円を投入す

議長一ロメモ！

二〇〇九年の総選挙は大方の予想どおり民主党の圧勝、自民党の惨敗に終わった。

自民党の敗因は数々あるが、交付税の削減や強制的な市町村合併で都市との格差が広がり地方の有権者が目覚めたことが最大の要因だろう。

しかし日本一の貧乏県高知から、民主党議員が誕生しなかった理由が分か

らない。

中山間の課題である過疎、少子、高齢化、手のつけようがない荒廃した植林等はすべて自民党政治の遺産である。

眠り続ける故郷仁淀川町を目覚めさせ特効薬はないが、政権交代をしたい。ま現在が最後の機会であることは間違いない。

知事を先頭に県民一丸となって高知の現状を現政権に訴え続けなければならないと思う。

若藤 敏久

るのであれば、他に広い土地が買えるのではないのか。議会に相談すべきでは。

答 保健福祉課長

町有地であり、議会には随時説明をすべきと考えている。十分説明できる図面ができあがってなく、説明が遅くなり申し訳なく思っている。

問 岡田

約3千万円の杭打ち、国道沿い、駐車場を含め場所に問題がある。池川に福祉センターがあり、将来目的がない施設なら、改造し池川に造ってほしいとの意見がある。全面的な見直しを提言する。

答 保健福祉課長

池川保健センターを改造するには、相当の経費が予想される。全面的な見直しは、社協と協議したい。

中学の統合は急務

問 岡田

中学生が減少するなか、今後の学校運営を考え、統合すべきと思うが。

答 教育長

学力向上のためにも、統合に向け検討、議論を深めていくことが急がれる。

地元と地域、PTA関係組織、議会との議論を重ねる場を多く持たたい。



社協の計画している、総合福祉センターの建設予定地（大崎）